

日頃の備え

いざという時のために、日頃の備えが大切です

災害による被害を少なくするため、また災害廃棄物による負担を減らすため、平時からできることに取り組みましょう。

家具の転倒防止 対策をしましょう

タンスや家具の転倒から身を守るだけでなく、破損による災害廃棄物の発生を抑止することができます。



不要なものの 整理をしましょう

災害時には大量のごみが発生します。災害時の負担を少しでも軽減するために、ご家庭で不要になったものは、リサイクルショップやフリマアプリを活用して、普段から整理するようにしましょう。



情報収集の方法を 確認しておきましょう

災害時には、さまざまな方法で市から情報を発信します。災害時にすぐに情報を受け取れるよう、事前に登録やご確認をお願いします。

情報を入手する方法

下記のほか、フェイスブック、X（旧ツイッター）、広報車、防災行政無線などでも発信します。

朝霞市
ホームページ



メール配信
サービス



Yahoo!
防災速報



朝霞市
公式 LINE



令和 7 年
10 月発行

災害時のごみの 分け方・出し方

大規模な災害が発生すると、一度に大量のごみが出ます。災害ごみの処理は、地域の復旧・復興の第一歩として速やかな対応が必要です。

このパンフレットは、災害時のごみを正しく分別して出していただくために、平時から市民の皆さんに知っておいてほしい基本的なことを記載しています。



© むさしのフロントあさか

災害時に発生する廃棄物の種類

災害廃棄物

被災により使えなくなったもの
（壊れた家具、家電など）



生活ごみ

災害時でも、毎日の生活によって発生
する生活ごみ



避難所ごみ

避難所で発生する、生活ごみや支援物資
の容器包装など



し尿

仮設トイレ等からの
くみ取りし尿など



災害時のごみの出し方

災害時でも必ず分別をお願いします

災害ごみもできる限りリサイクルします。分別されていれば、その後の処理がスムーズに行えるほか、処理コストをおさえることもできますので、分別の徹底をお願いします。

普段の集積所に出せるのは生活ごみだけです

災害発生後は普段通りの収集ができないおそれがあります。災害廃棄物を集積所に出してしまうと、生活ごみの収集が困難になってしまいますので、生活ごみは集積所へ出し、災害廃棄物は仮置場へ運んでください。



災害廃棄物

市が指定する仮置場に、下表のとおり分別のうえ持ち込み



※仮置場は、被災状況などを考慮して、災害ごとに指定します。情報の入手方法は4ページをご覧ください。

燃やすもの	木くず	畳、布団、マットレス、カーペット	
不燃物	コンクリート	金属	消火器
小型家電	腐敗性廃棄物	廃自動車	有害廃棄物
ガスボンベ、スプレー缶、携帯ライター		灯油容器	化学物質
電池、太陽光パネル		テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機	



注意

災害廃棄物でないものは仮置場へ出せません

緊急車両が通れないので、道路に出さないで

生活ごみの集積所に出さないで

生活ごみ

普段お使いの集積所に、燃やすごみだけ出してください



- 災害発生後、3日以内を目安にごみ収集を再開できるようにしますので、市のお知らせをご確認ください。
- 生ごみなど、腐敗しやすいごみから優先的に収集しますので、資源や燃やせないごみ、急いで捨てる必要のないものはご自宅で保管をお願いします。

し尿

上下水道施設の被害状況によって、市内に仮設トイレを配備し、発生するし尿を収集します

トイレ対策はぜったいに必要です！

ご自宅に被害がなくても、水道が出ない、下水道管が破損して汚水を流せない、停電などといった理由で、水洗トイレが使えなくなるおそれがあります。水や食料の備蓄と一緒に、必ず携帯トイレの備蓄を行ってください。

ごみとして出す際は、におい・飛散対策として、凝固剤で固めて、袋を二重にするなどして、**燃やすごみとして出してください。**

備蓄の目安

国のガイドラインでは、7日分の備蓄を推奨しています

4人家族の場合…

$$1人1日5回 \times 4人家族 \times 7日分 = 140回分のトイレ備蓄が必要です$$



一緒に保管を忘れずに！

使い捨て手袋やウェットティッシュ



断水で手が洗えないかもしれません

トイレットペーパー



1人1ロール以上あると安心です

45リットルごみ袋



便器に残った水がつかないように便器をカバーします

避難所ごみ

普段の分別方法が基本ですが、避難所ごとにルールが定められることがあります。避難所ごとのルールを確認のうえ分別の徹底をお願いします。

